



# いっ 巖のしらかし

《白檀中学校だより 第9号》

令和6年 10月16日発行

文責:校長 西村 拓司



ホームページ

## 白中体育フェスティバルを終えて

去る10月2日(水)に、白中体育フェスティバルが行われました。当日は雲一つない青空のもと、盛況のうちに終えることができました。

体育フェスティバルを通して、子どもたちの一生懸命に頑張る姿、お互いに声をかけあって心ひとつに競技や応援をしている姿に、たくさんの元気をもらいました。また、運営に関わる準備、放送、記録などの係仕事も、しっかりと協力をして頑張ってくれました。素晴らしかったです。

体育フェスティバルの最後には、全校生徒による恒例の「白中ソーラン」を今年も実施しました。1年～3年までの生徒が一緒に同じ演技をするわけですが、演技が始まる前に代表の3年生の生徒達が、「全校生徒、心一つに気持ちを合わせて、最高のパフォーマンスができるよう今日まで頑張ってきました。全力をそそいで取り組みます。」と熱意を語ってくれたことも、とても印象に残っています。「勝った、負けた」はありますが、勝敗を超えて、生徒みんなが心ひとつに物事をなし遂げようとした、とてもいい体育フェスティバルになったと思います。

早朝より、子どもたちの応援にかけつけていただいた保護者のみなさま、ご来賓のみなさま、関係者のみなさまにも心より感謝申し上げます。今後とも、本校教育活動、本校生徒のために、温かいご支援をよろしくお願いいたします。



### 《 大会結果 》

1年生【優勝】 1年2組  
2年生【優勝】 2年1組  
3年生【優勝】 3年1組  
総合優勝 黄組

### 《 学級旗賞 》

【優勝】 3年1組



## 中西多恵子先生の ホッと な話

### 「重い荷物を持ってくれた親切な少年」



10月5日（土）、ある年配の女性の方から「中学2年生で白檀町〇丁目に〇〇〇というような名前の男の子がいるかと思いますが、どこに住んでいますか。」と学校に電話がありました。詳しくお話を聞いてみると、「昨日、バス停付近で荷物を持っていると『荷物を持ちましょうか』と、その少年が声をかけてくれて、石船下のバス停辺りから自宅まで重い荷物を運んでくれたとのこと。感謝の気持ちでいっぱい、一刻も早くお礼を持って行きたいと思っています。小柄な男子生徒で、最近あまりいないくらいの好青年でした。」という事でした。

普段の学校生活でも「先生、持ちましょうか」「手伝いましょうか」と声をかけてくれる生徒がいます。登下校でも、同じように声をかけることができたことはとても素晴らしいことだと思いました。また、覚えておられる名前から何となく察しはつきましたが、お話をお聞きしている時、たくさんの生徒の顔が頭に浮かびました。そんな素敵な生徒がたくさんいるということも白檀中学校の良いところだと思いました。立派な行いができる生徒に心から大きな拍手を送りたいと思います。

## 井上 博 教頭の ホッと な話

### 「みかんちゃんを探して！」



10月9日（水）、地域の年配の女性の方から学校に連絡がありました。ある生徒の行いについて「大変嬉しかったので、その人にお礼を言いたい」という事でした。その女性の話の内容は次の通りです。

「ある日の夕方、鳥坂神社付近で迷子になって帰ってこない飼い猫を探していると、通りかかった白檀中学校の少年が私に『どうかしましたか？』と声をかけてくれました。『飼い猫を探しています』と言うと『一緒に探しましょう』と声をかけてくれ、一緒に『みかん～（飼い猫の名前）』と声をだして探してくれました。その時は見つけることが出来ませんでした。少年は、『見つかるまで、毎日、帰り道にここを通るので気をつけて探しますよ』と言ってくれました。とても嬉しくて、その時は涙が止まりませんでした。是非その人にお礼が言いたいのです。」という話でした。

「自分の事ではなく、誰かのために何かする」、なかなか出来ないことです。